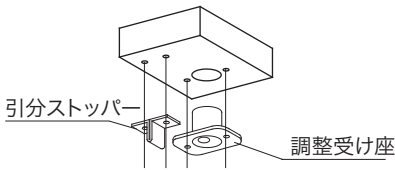
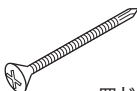


ハートフル コンビネーションドア 片引ポケット 《柵施工用》

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

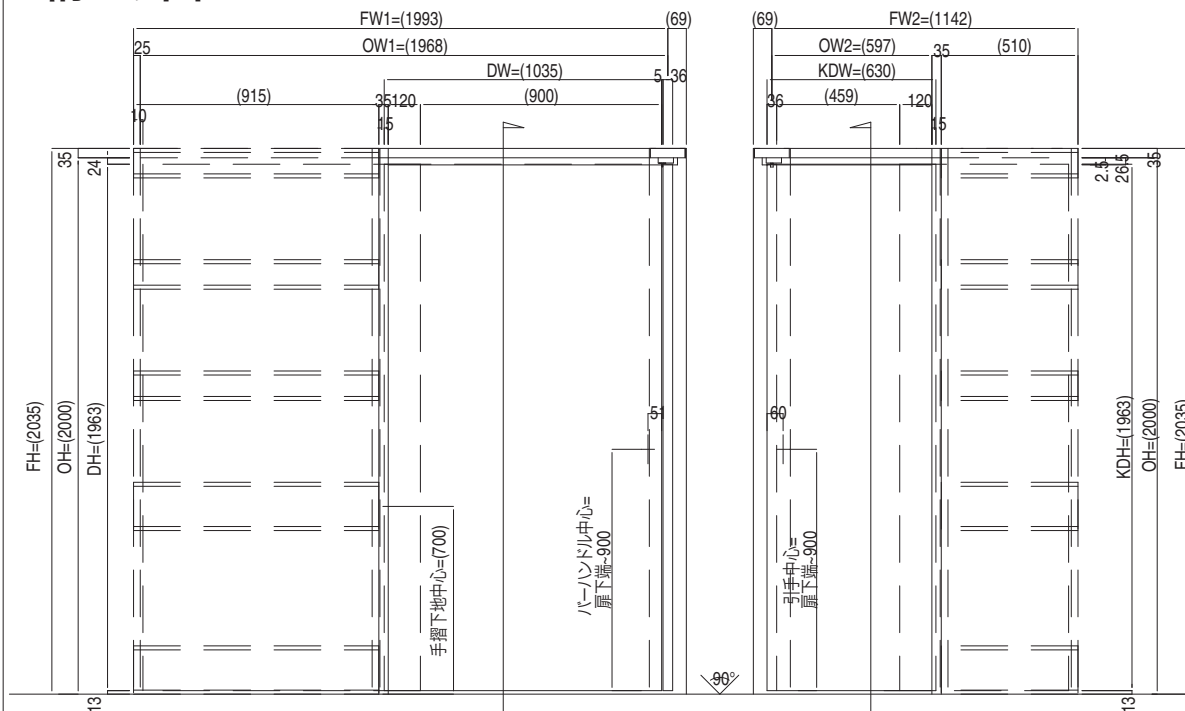
枠 梱 包					
上枠	2	戸当枠	2	方立枠	4
					
連結部材	1	上レール(メイン扉側)	長 1 短 1	上レール(サブ扉側)	長 1 短 1
					
連結金具	2	吊車	戸先用 2 戸尻用 2	ソフトクローズ用受け金具	1
 連結金具取付ビス 皿タッピン 3.5×25・・・12本		 戸先用(ソフトクローズ) 戸尻用			
召合せクッション	2	ハンガーカバー	4	枠組立ビス(小)	6
				 皿ビス 3.4×50	
枠組立ビス(大)	4	躯体取付ビス	18	レール取付ビス	10
 皿ビス 4.2×62		 皿ドリル 4×50		 皿ドリル 4×50	

納まり図

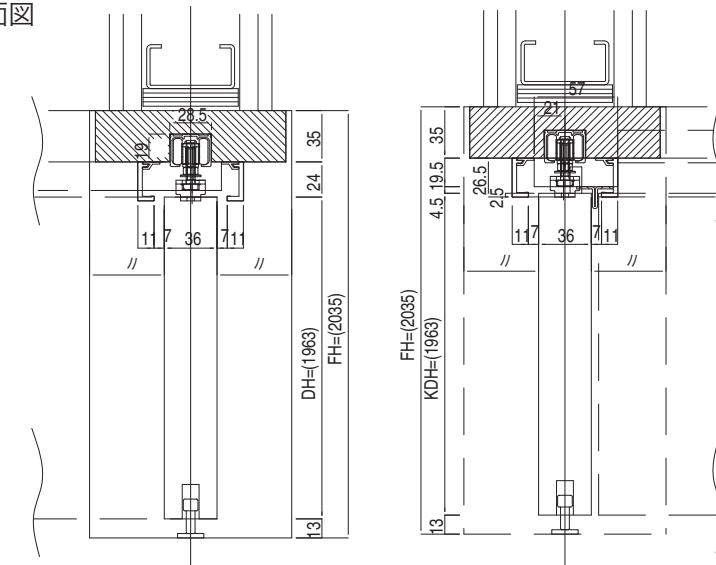
メイン

サブ

左勝手

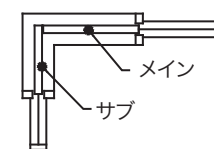


縦断面図



勝手

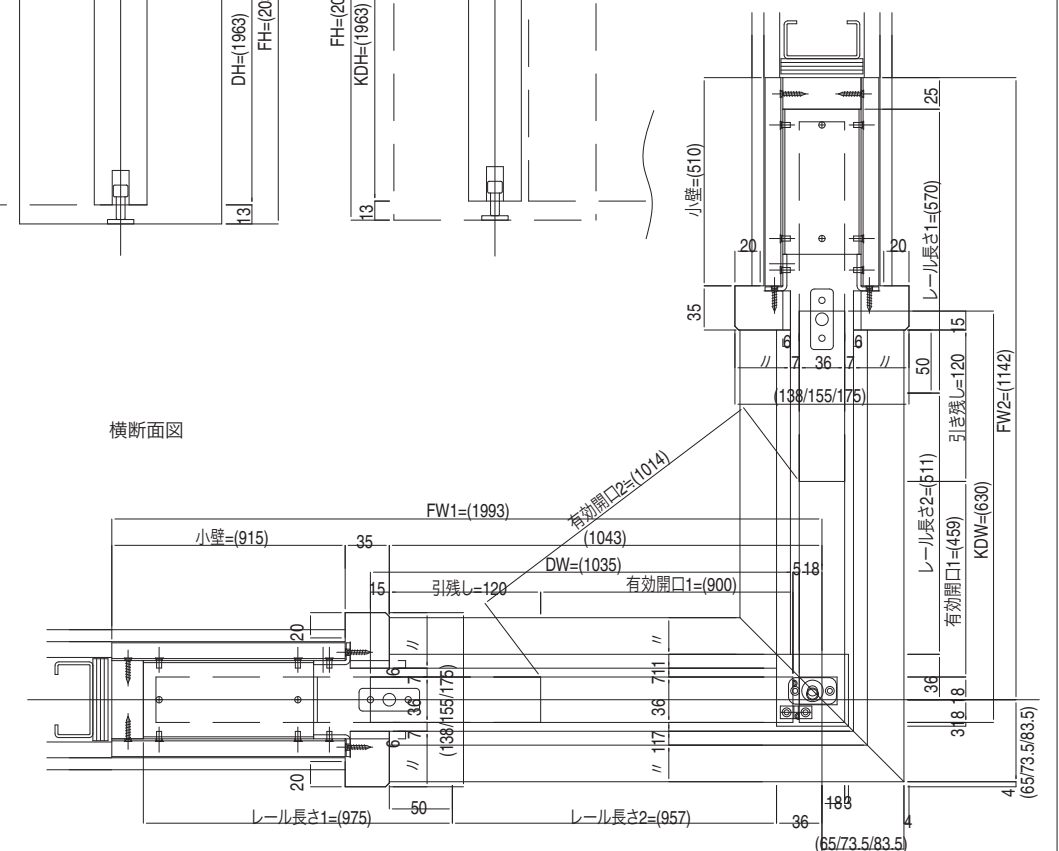
L 左勝手



R 右勝手



横断面図



1. 枠の組立て・取付け

① 枠組立ビスで枠を組み立ててください。

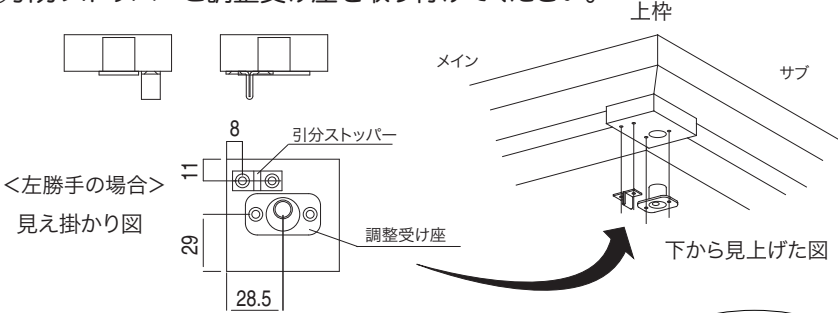
- ◆ 枠組立ビス(小): 方立枠 皿ビス 3.4×50
- ◆ 枠組立ビス(大): 戸尻枠 皿ビス 4.2×62

② メインの枠とサブの枠を連結させます。
連結金具をご使用ください。

- ◆ 連結金具
- ◆ 連結金具用ビス 皿タッピン3.5×25

注意 垂直・水平を必ず確認し、ねじれ・傾き・変形などないよう施工してください。

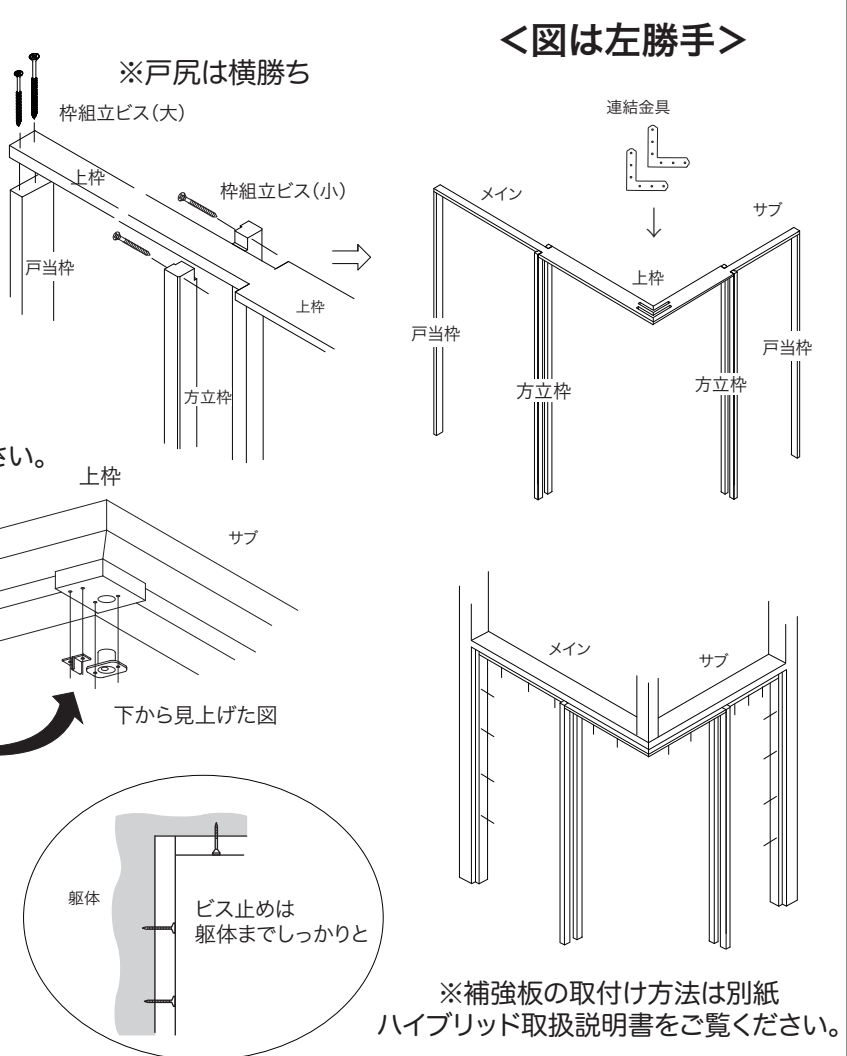
④ 引分ストッパーと調整受け座を取り付けてください。



⑤ 組み立てた枠を躯体に固定してください。

- ◆ 躯体取付ビス 皿ドリル 4×50

注意 本品は上吊式なので、扉の荷重で上枠が垂れ下がらないよう、しっかり固定してください。



2. レールの取付け

《上レールと吊車の取付け》

注意 ※レールの取付けは、必ず戸袋の壁を張る前に行ってください。
戸袋の壁を張った後は、レールをビス止めすることができなくなります。
※また、壁を張った後でレールを外すこともできませんので、吊車の入れ忘れや受け金具の取付、ビスの締め忘れなど、不備がないよう充分ご注意ください。

① あらかじめ、上レールに吊車を挿入してください。

- ◆ 上レール
- ◆ 吊車

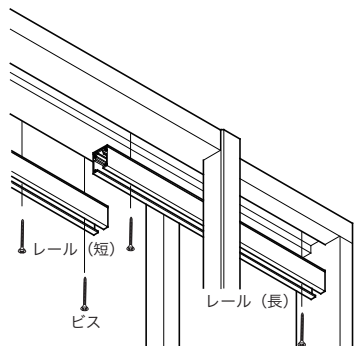
② 上レールをビスで上枠に取り付けてください。

- ◆ レール取付ビス 皿ドリル 4×50

※レールのビスの頭が吊車と干渉しないことを確認してください。

※レール内にゴミやホコリが残っていると、ローラーの動きを妨げたり、異音を発生させる原因となりますのでご注意ください。

注意 扉の荷重でレールがはずれないよう、しっかり固定してください。



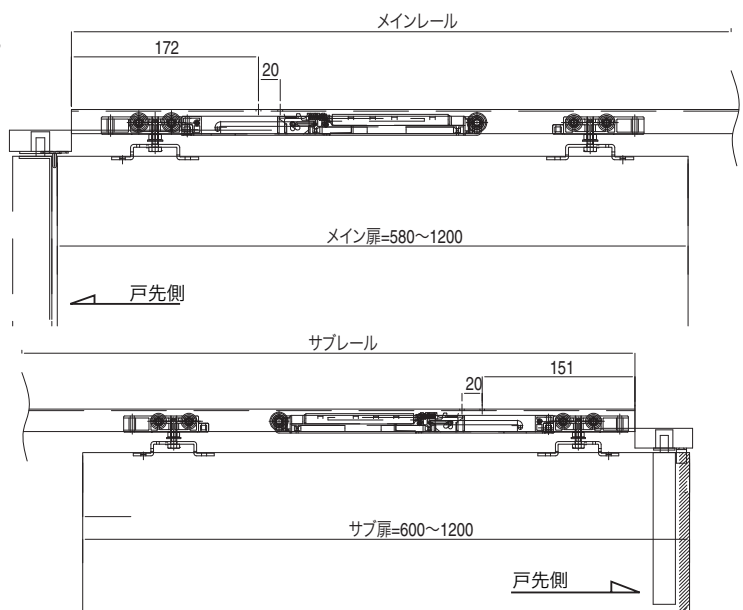
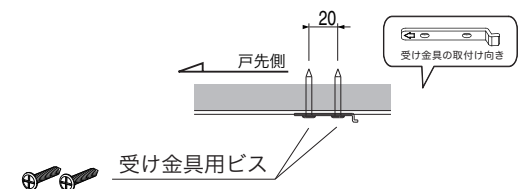
2. レールの取付け<続き>

③ ソフトクローズ用受け金具をレールに固定してください。

- ◆ ソフトクローズ用受け金具

注意 ※受け金具取付用のレールビス穴は工場ですべて出荷します。
※受け金具取付は現場でお願いします。

④ 穴の位置に合わせて図のようにレールの下から受け金具を取り付けてください。
取付けには付属のビスを使用してください。



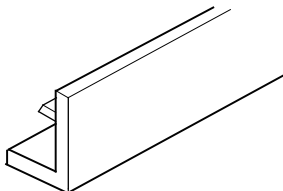
3. 扉の取付け

① 扉を取り付けてください。扉の取付方法につきましては、扉施工用の取扱説明書をご参照ください。

4. 部品の取付け

《ハンガーカバーの取扱い》

- ① ハンガーカバーは、扉を吊り込んだ後で取り付けてください。
- ② ハンガーカバー及び関係部品は、扉の吊込みまで紛失しないよう保管してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆ 全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆ 取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆ 扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

＜使用上のご注意＞

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。
(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。